

A7779	サロ110-300番代 湘南色 2両セット	予価: 11,990円(本体価格10,900円)
		JANコード: 801703 カートン内入数: 24

商品形態 Nゲージ塗装済完成品(素材:ABS樹脂製 対象年齢:14歳以上 2両用紙ケース入り)

実車
 東北・上越新幹線が開業した1982年11月のダイヤ改正では多くの在来線特急電車の整理縮小が行われ、グリーン車を中心に経年の浅い余剰車が生じていました。その一方で東海道線東京口で使用されていた近郊型グリーン車は1950年代製の車両を中心に老朽化が進行しており、折からの国鉄財政も勘案して特急型グリーン車の近郊型転用が行われることになり、デッキの増設や電気回路の変更、塗装変更、4か所の開閉窓化などが行われてサロ110に編入されました。
 サロ110-303は481系のグリーン車、サロ481-27として1969年に落成、1978年に181系「とき」用として直流転用改造されてサロ181-1052となった後、1983年に近郊型転用改造が行われました。直流改造車の300番代に区分されましたが、その来歴から交直流改造車の350番代に類似した、481系由来の客用扉下の張り出しやキノコ型のクーラーが外見上の特徴です。
 サロ110-309は183系0番代のグリーン車、サロ183-11として1972年に落成、1987年に近郊型改造されました。当初は別の転用計画に基づき保管されていたものの、計画変更によって転用改造されたとも言われています。
 特急型転用改造車は座席定員が48名と少ないことからラッシュ時に問題が生じ、極力定員の多い2階建てグリーン車と組み合わせて運用されるなどの工夫が行われましたが、徐々に引退が進み、最終的には横須賀線用のサロ110-1302が1998年に引退することでその波乱の歴史の幕を閉じました。

商品概要
 ・マイクロエース近郊型電車シリーズの更なる充実
 ・特急型グリーン車から近郊型グリーン車へ改造されたサロ110-300番代を2両セットで製品化
 ※走行には別途動力車が必要です(お手持ちの113系と組み合わせてご使用いただけます)

湘南色の元特急型サロ110-300番代



※写真はイメージです

PHOTO: 佐藤利生

- キノコ型クーラー搭載の元481系のサロ110-303
- 350番代と異なるサボ受け位置を再現



PHOTO: 佐藤利生

- 元183系のサロ110-309
- ヨロイ戸タイプのAU13型クーラーを搭載

オプション 幅広室内灯: G0001/G0002/G0003/G0004, マイクロカプラー 密連・黒: F0001

付属品 シール